

EndoFirst 4

～ 歯科治療の基本はエンド～

Produced by
YOSHIDA

オンサイト講演（会場集合）

開催日 **2025/3/20 (祝)**

会場 (株)ヨシダ東京本社 3F 第1・2会議室
〒110-8507東京都台東区上野7-6-9

開催時間 **10:00～16:30**

○ライブ配信はございません。

定員 **100名**

受講料 **22,000円 (税込)** 昼食付き
※お支払いはクレジットカード決済のみになります。

スケジュール

時間	内容	講師
10:00-10:10	開会	北村先生
10:10-11:40	講演:根管形成と根管充填	石井先生
11:40-11:50	休憩	
11:50-12:50	上映講演 ※事前講演収録分を当日上映致します。 ①作業長決定における解剖学的、生物学的、病理学的考察 ②従来の根管充填材と最新のバイオセラミックシーラーによる過剰充填に対する根尖周囲組織の反応 ③根管システムの創面切除におけるマルチニックデバイスと「新技術」に関する考察	リクーチ先生
12:50-13:40	昼食(ランチョンセミナー) ※事前講演収録分を当日上映致します。 ①日常臨床におけるビスタスキャンの有用性 ②「診査・診断における画像の役割」～症例を通して～	リクーチ先生
13:40-15:10	講演:最新の破折器具除去法とレッジバイパス形成法	寺内先生
15:10-15:30	Coffeeブレイク	
15:30-16:00	石井先生&寺内先生 Q&A	石井先生&寺内先生
16:00-16:30	リクーチ先生WEB参加によるディスカッション	リクーチ先生 石井先生 寺内先生
16:30	終了	

ヨシダのホームページより
お申込みください。

講演お申込

※G-PLUSへの会員登録が必要です。

スマホからは
QRで簡単アクセス



<https://x.gd/g7iKj>

協賛

アンジェラスジャパン デュールデンタルジャパン

お問い合わせ

株式会社 **ヨシダ** 株式会社ヨシダ 器材部 **03-3845-2931**

- 入金確認をもって受付とさせていただきます。●お車でのご来場はご遠慮下さい。
- 当日ビデオ撮影等はご遠慮下さい。●キャンセルは、開催日1週間前迄(2025年3月13日)可能です。

YOSHIDA

Endodontic Seminar

世界の
エキスパート達が
リレー講演



特別講演上映及びWEBライブ参加
ドミニク リクーチ 先生



講師
石井 宏 先生



講師
寺内 吉継 先生



モデレーター
北村 和夫 先生

angelus Japan
アンジェラスジャパン

DÜRR DENTAL
デュールデンタルジャパン

EndoFirst 4

[特別講演会]
～ 歯科治療の基本はエンド～

開催日時

2025 **3.20** 10:00 → 16:30
祝

会場

株式会社ヨシダ(東京本社)

受講料

22,000円(税込)(オンサイト)

スケジュール

- 根管形成と根管充填 石井宏先生 90分
- 上映講演 ドミニク リクーチ先生 60分
①作業長決定における解剖学的・生物学的・病理学的考察
②従来の根管充填材と最新のバイオセラミックシーラーによる過剰充填に対する根尖周囲組織の反応
③根管システムの創面切除におけるマルチニックデバイスと「新技術」に関する考察
- ランチョンセミナー上映 ドミニク リクーチ先生 30分
①事情臨床におけるX線システムの有用性
②「診査・診断における画像の役割」～症例を通して～
- 最新の破折器具除去法とレッジバイパス形成法 寺内 吉継先生 90分

[特別講演会]

EndoFirst 4th

～ 歯科治療の基本はエンド～

モデレーター

北村 和夫 先生



Dr.
Kazuo
Kitamura

1986年 3月 日本歯科大学歯学部卒業
 2015年 4月 日本歯科大学附属病院総合診療科 教授
 2016年 4月 日本歯科大学附属病院 研修部長
 日本歯科保存学会：専門医、指導医、理事
 日本歯内療法学会：専門医、指導医、代議員
 関東歯内療法学会：理事

世界のエキスパート達がリレー講演

講師

石井 宏 先生



Dr.
Hiroshi
Ishii

学歴
 1993年 神奈川歯科大学卒業
 2006年 ペンシルバニア大学歯内療法学科大学院修了

職歴
 1996年 都内歯科診療所開業
 2007年 港区新橋にて歯内療法専門医院開設
 2018年 中央区銀座に移転
 現在に至る
 ペンシルバニア大学非常勤講師

所属学会
 American Association of Endodontists specialist member
 日本歯内療法学会 専門医

演題

根管形成と根管充填

根管の形成と充填は、我々が患者に対して歯内療法を提供する際の中心的な手技となるもので、この処置に対してかなりのチェアタイムを割かなければいけないのが現実である。しかしながら根管治療を成功に導くためには、形成や充填の高度なテクニックを身につけるよりも、治療プロトコルを厳密に守ったり、診断能力の向上を図ったほうがじつは効率的であるのもまた事実である。

形成と充填においてはNi-Tiロータリーファイルやケイ酸カルシウム系の根管充填材の使用が治療の効率化、治療時間の短縮化に貢献するようになった。ここ10年の歯内療法領域の器械・材料学的革新は歯科医師の能力の標準化を可能とするかのように考えられ、患者にとっては朗報が待たれるところであった。そして器械や材料進化は根管治療の成功率をあげることに成功したのであるか？答えは「NO」である。

本講演では歯の保存のために必要な生物学的な思考や歯内療法成功率を踏まえた「根管形成」と「根管充填」の理解を目的とする。

講師

ドミニク リクーチ 先生 



Dr.
Domenico
Ricucci

*講演は同時通訳です。

略歴
 イタリア チェットラーロ 開業
 1982年 イタリア ラ スピエザ大学で一般医学の学位取得
 1985年 同大学にてDDS取得以降、民間の歯内療法専門の診療所に勤務した後、開業。
 2002年～2003年 イタリア カタンツァーロ大学「マグナ・グラエキア」齶蝕学の教授 歯科医院経営者と大学教授を両立。
 1999年～2005年 欧州歯内学会研究委員会所属
 2017年 フランス歯内療法学会 グロスマン国際賞受賞
 2023年 米国歯内療法士協会 ルイ・グロスマン賞受賞

演題

- ①作業長決定における解剖学的、生物学的、病理学的考察
- ②従来の根管充填材と最新のバイオセラミックシーラーによる過剰充填に対する根尖周囲組織の反応
- ③根管システムの創面切除におけるマルチソニックデバイスと「新技術」に関する考察

現代の歯内療法における論争の問題

現代歯内療法においては、臨床医や研究者の間で意見の分かれる分野が多くあります。最も激しい論争が、歯内療法作業長の根尖部終末位置とそれに関連する穿通（性）の概念、そして側枝の治療方法である。本講演では、細菌の侵入によって引き起こされる歯髄の変性過程において、根管内で起こる組織学的事象について説明する。主根管における細菌バイオフィームの形成とその影響について説明する。ある時点で、バイオフィームが根管システムの境界の外側に形成され、根管外感染として知られる状態を引き起こすことが明らかにされている。作業長決定における最近の電気的根管長測定器の使用指針や根管形成と根管充填が根尖狭窄部または生理学的根尖孔に設定された場合に、最も理想的な創傷治療が観察されることを示しています。失敗症例から採取した根尖生検では、必ず根管システムの入り組んだ部分に細菌性バイオフィームが残存しており、マルチソニックデバイスや洗浄剤のレーザー活性化など、現代の消毒プロトコルでは感染を制御できない領域であることが示される。最後に、根管充填材として使用されるバイオセラミック材料に対する組織の反応について説明する。

講師

寺内 吉継 先生



Dr.
Yoshitsugu
Terauchi

医療法人社団インテリデント理事長
 パチエシア大学非常勤教授
 ボストン大学非常勤助教授
 東京科学大学大学院非常勤講師
 日本顕微鏡歯科学会認定指導医
 米国歯内療法学会認定講師

演題

最新の破折器具除去法とレッジバイパス形成法

根管内の破折器具とレッジ形成には共通点がある。経験を積んでも器具破折やレッジ形成は根管形成中に何の徴候もなく起こる偶発症であること。そして器具破折やレッジが生じると根尖側根管の清掃ができなくなり、正しく根管治療を完了することができなくなることである。このような偶発症が生じて術前に根尖透過像が存在する場合の治療予後は不良となる。そこで今回の講演では最新の誰でもできる破折器具除去法とレッジのバイパス形成法を紹介したいと思う。